

工法比較表

		アスベスト除去工法（外壁アスベスト処理）		
工法		バキュームウォータージェット工法（VAWM）	VAWM-KG工法（隔離ガン打ち工法）	VAWM-WG工法（ウォーターグラインダー工法）
一般名称		集塵装置付き超高压水洗工法（100Mpa以上）	超高压水洗工法（100Mpa以上）隔離フィルム仕様	集塵装置付き湿式油圧グラインダーケレン工法
特徴		<ul style="list-style-type: none"> 専用機器にて水を超高压で噴射・研磨すると同時に撤去物を回収する除去工法。仮設足場を利用し、足場側面・天井部・床部をシートで包み、作業員が保護衣及びレベル3対応防塵マスクをつけ、専用機器にて除去を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物と仮設足場の間に区画フィルムを設置し専用機器にて水を超高压で噴射・研磨し、最下部でバキュームで汚染水を回収する除去工法。作業員が保護衣及びレベル3対応防塵マスクをつけ、専用機器にて除去を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 専用機器にて湿潤させながら、油圧グラインダーにて吸引除去する工法。作業員が保護衣及びレベル3対応防塵マスクをつけ、専用機器にて除去を行う。
施工条件		<ul style="list-style-type: none"> 広範囲の雨対策を必要とする。 ※足場に防音パネル又は防音シートが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 広範囲の雨対策を必要とする。 ※足場に防音パネル又は防音シートが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 広範囲の雨対策を必要とする。 ※足場に防音パネル又は防音シートが必要
施工性		<ul style="list-style-type: none"> 超高压洗浄機の水圧で作業を行う機械作業なので作業効率は良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 超高压洗浄機の水圧で作業を行う機械作業なので作業効率は良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 油圧を使用するためトルクが強く、下地調整材も無理なく除去することが可能。 専用機器から水を噴射させて湿潤させながら除去するため、作業環境が良好である。
施工能力		<ul style="list-style-type: none"> 80㎡/日以上 	<ul style="list-style-type: none"> 100㎡/日以上 	<ul style="list-style-type: none"> 50㎡/日以上
下地材に対して		<ul style="list-style-type: none"> 適用可 	<ul style="list-style-type: none"> 適用可 	<ul style="list-style-type: none"> 適用可
長所		<ul style="list-style-type: none"> 超高压の洗浄機を用いる為、施工の効率化が図れる。 下地材まで除去することが可能である。 水にて除去を行い同時に吸引してアスベストを回収する為、アスベストの飛散を抑制できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 超高压の洗浄機を用いる為、施工の効率化が図れる。 下地材まで除去することが可能である。 窓枠廻り・出隅・入隅もすべてガン打ちで除去可能なので出戻りがなく工期短縮が可能。 施工区画養生されているので足場等への飛散を防げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 下地材まで除去することが可能である。 専用機器から水を噴射させて湿潤させながら除去する為、作業環境が良好である。 大型の装置が必要なく狭小地でも施工可能。 専門職を必要としない。 出隅・入隅部も施工が可能
短所		<ul style="list-style-type: none"> 専門職を必要とする。 汚泥物の回収と水処理施設が必要になる。（配置スペースが必要） 出隅・入隅部は別工法の採用が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 専門職を必要とする。 汚泥物の回収と水処理施設が必要になる。（配置スペースが必要） 	<ul style="list-style-type: none"> 専用機器を必要とする。
コスト評価	小規模施工	×	△	○
	大規模施工	○	○	×